

農業

県中農林事務所 田村農業普及所
地域農業推進課

令和3年度採用

職歴

R3～ 県北農林事務所 伊達農業普及所
経営支援課

R6～ 県中農林事務所 田村農業普及所
地域農業推進課

私は

人と話すこと

が好き!



わたしを表すKEYWORD

#家族との時間を大切に

業務が忙しくなると、帰りが遅くなり、家族と過ごす時間を確保できないこともあります。

その代わりに、休日は家族と食事に行ったり、遊びに出かけたり、家族との時間を作ってワークライフバランスを取っています。

#うまいもの巡り

県職員は県内各地を異動するため、それぞれの地域のおいしい食べ物を知ることができます。休日に家族と食事に行くのを楽しみに過ごしています。

#インドア派

#笑い

#タブレット端末

魅力ある福島の農業をつくる

私は農業普及所に所属しており、農業の担い手の確保・育成及び野菜の栽培に関する技術指導をしています。就農希望者や農業者と直接接し、農業に対する熱意や目標等を伺い、目標達成に必要な課題を解決するため一緒に取り組んでいます。

その中で、農業者から感謝の言葉を頂いたときにやりがいを感じます。



↑ 就農希望者との面談の様子

県職員を目指した理由

農業関連企業の営業職として勤務していましたが、農業者と接する機会がなかったため、自分が携わっている仕事がどのように農業者に役に立っているのか実感できませんでした。県職員の農業職では直接農業者と接する業務があることを知り、やりがいのある仕事ができるのではないかと考え志望しました。

とある一日のスケジュール

- 8:30 始業・朝礼
- 9:00 就農希望者との面談①
- 10:30 就農希望者との面談②
- 12:00 昼休み
- 13:00 新規の就農相談日程の連絡調整
- 14:00 新規就農者ほ場訪問による就農状況確認・栽培管理指導
- 16:00 帰庁、メール確認、活動記録の作成
農業者からの問い合わせ対応
- 17:00 翌日以降のスケジュール確認
- 17:15 終業

今までの県職員の業務の中で、印象に残った経験



↑ 現地で技術指導を行う様子

「あなたのおかげで活動が活発になった」と言ってもらえたことです。

若手生産者組織の運営支援を担当していたこと。当時新型コロナウイルス感染症の影響もあり、組織の活動が少なくなっていました。そこで、県内外での農産物販売イベント出展やスマート農業技術導入のための研修の実施等を提案し、それらの取組により組織の活動が活発になったときにかけてもらったこの言葉が強く印象に残っています。

福島県職員として実現したいこと、目標としていること

全国で農業を始めたいと考える人たちに「農業を始めるなら福島」と言ってもらえるような福島の農業を作っていきたいです。また、様々な知識や技術を身に付け、地域に寄り添い、生産者や関係機関、団体から安心して頼ってもらえるような普及指導員になりたいと考えています。



↑ 農業者からお話を伺う様子

受験者への
メッセージ

県職員の農業職は、行政、普及、研究と業務は多岐にわたっています。また、地域ごとに抱えている課題も様々あります。課題解決のためには多種多様な意見が必要です。ぜひ皆さんの知識や経験を活かして一緒に働きましょう。

(令和7年3月現在)